

# 第2回看護研究会

(看護補助者教育研修会)

令和4年8月9日(火)

ハイブリッド開催

(会場：岡山県医師会館)

〔午前〕講演

演 題 『認知症を持つ人に寄り添うコツ』

講 師 一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 外来師長兼副部長  
認知症看護認定看護師 小幡陽子氏

〔午後〕講演

演 題 『おいしく食べ続けるために』

講 師 岡山赤十字病院  
摂食・嚥下障害看護認定看護師 十河有子氏

(一社) 岡山県病院協会

(注：類似した感想はまとめています。)

## 第2回看護研究会（看護補助者教育研修会）のアンケート集計（令和4年8月9日）

（ 59病院 120名 出席 ・ 92名 回答 ）

### 1. 講演『認知症を持つ人に寄り添うコツ』を聞いて。

（講師：一般財団法人津山慈風会 津山中央病院 外来師長兼副部長／認知症看護認定看護師 小幡 陽子 氏）

#### A.

a. 大変勉強になった	67名	c. 勉強にならなかった	0名
b. 勉強になった	24名	d. 全く勉強にならなかった	0名

未記入1名

#### B. 講演内容について

a. 大変分かりやすかった	61名	d. 少し難しかった	0名
b. 分かりやすかった	26名	e. とても難しかった	0名
c. 普通	4名		未記入1名

#### C. 感想があれば一言。

- ・ 身近な例があり、分かりやすかった
- ・ 配付資料が分かりやすかった
- ・ これからの業務に役立つ内容だった
- ・ 難しい事柄も分かりやすく説明していただいて良かった
- ・ 思い込みや、新しく分かることもあり良かった
- ・ よく理解できた。次の回でも参加したいと思った
- ・ 話し方も聞き取りやすく、身近なことが議題だったので大変為になった
- ・ 認知症について新たに知ることができる内容があった
- ・ 業務をしていく中で役立つことがたくさんあり、とても勉強になった
- ・ 患者さんと接するとき参考になることがたくさんあった
- ・ 認知症の患者さんに関わる中で、研修で聞いたことを今後の仕事に活かしていくようにする
- ・ 具体的な事例を知ることができ、とても参考になった
- ・ 内容が濃く、実例（動画）を交えながらだったので分かりやすかった
- ・ 認知症にもいろいろあること、何がそうなのか、どのようなことなのかを少し分かった気がする
- ・ 加齢による身体的低下と認知症状とよく似ているが、認知症と思い込まず対応したい
- ・ 認知症をもう少し分かればよいなと思った
- ・ 認知症について、もっと勉強してみよう・改めて学んでいきたいと思った(2)
- ・ 現在と以前とのケアの変化について、対応できるようにアンテナを張っていきたい
- ・ 認知症の患者様の気持ちが少しでも分かった気がする
- ・ 認知症患者様の気持ちを理解することによって、より良い介助に繋がりたい
- ・ 認知症との向き合い方などが知れて、祖母が認知症だから為になった
- ・ 認知症を持つ方への BPSD を理解し、個々別々の対応・接し方全ての関わり方をする
- ・ BPSD はメッセージと考えるというのが心に残った
- ・ 認知症は誰にでも起こることなのだと思強かった。患者の思いをしっかりと尊重したいと思った
- ・ 「認知症を持つ人は私たちの鏡」大切な言葉だと思う

- ・ 接し方等とても勉強になった。明日から実行できたらと思う
- ・ 患者さんに対する接し方・話し方について実践していきたいと思う
- ・ 認知症の方に対する接し方、その人らしさを大切にということを知ってすごく勉強になった
- ・ 病棟患者にも認知症の患者が沢山おられるので、表情や声かけ方法などとても勉強になった
- ・ 認知症に対する知識の再確認と、認知症の患者さんとの関わり方について改めて自分の言動を見つめ直すきっかけとなった。ありがとうございました
- ・ 認知症の患者さんへの関わり方が改めて勉強になった。今後、表情を心掛けたい
- ・ 認知症患者様に対する声掛け等、改めて理解し、今後の介護・看護に役立たせて行きたい
- ・ 初心に戻って対応・態度を考えるよい機会をくださり、良かった。勉強になった
- ・ 入浴の声かけをする際、ビデオにあったようなことをしていると気付かされた
- ・ 入浴拒否、「帰りたい」と言われた時などの対応方法が分かりやすく、実施していきたいと思った
- ・ 自分ができていないことをどのようにして改善していけば良いかが分かった
- ・ 認知症患者に対する接し方について再認識・再確認ができてとても良かった
- ・ 認知症の方への接し方や話し方、目線、表情などが大切だとよく分かった
- ・ 認知症の方の人生を知ることで、相手の気持ちに寄り添った介護をしていきたい
- ・ その方がどういう生活をしていたか、できるだけその方を知るよう努力していこうと思う
- ・ 認知症の方のことを知る。当たり前と考えていたが、「知る」ことも色々あると思った
- ・ 少しでも患者さんの気持ちに寄り添う仕事ができるように頑張る
- ・ 業務を行う中で“忙しい”を理由にせず、患者の気持ちに少しでも寄り添って介助できたらと思う
- ・ 認知症の方の症状や接し方について学ぶことができた。認知症を持つ方の行動や心理症状など理解し、その方の気持ちに寄り添えるように心がけて行動していきたいと感じた
- ・ 認知症は人によって症状が異なるため、対応を変えることによって穏和に繋がる工夫・ヒントが得られることで共にいろいろと成長できると思った
- ・ 動画等の内容がまさに現場でよくあることだった。対応について注意しようと思った。基本的なこと、説明・同意、介護者側の立場ではなく患者様の立場に立った対応をしていこうと思う
- ・ 相手が認知症のある方でも、相手の立場に立って接しなければならないと学んだ
- ・ 認知症の方は対応に困るときがあるが、相手の立場に立って考えることで解決できることがあるということが、分かっているようで気付いていないことだと分かった
- ・ 認知症の方の立場になって考えると色々見えてくると分かった
- ・ 患者と分かり合うことが大切だなと思った
- ・ 認知症を持つ人の世界を知ることの大切さを学んだ
- ・ 耳を傾けることがケアになるということを知った
- ・ “認知症の患者様は一人ひとり違うから難しい。だからみんなで考える”心に響いた。その人らしさ、個性を大切に支援をさせていただこうと思った
- ・ 認知症の方と接するのが難しいと思っていて、お話を聞いても難しいなと思ったが、実践していきたいと思う
- ・ 介護を始めたばかりだったので、大変勉強にはなったが、実践するとなると難しいだろうと感じた
- ・ 認知症というものがどういったものなのかを分かりやすく講義していただきありがとうございました。すごく為になり、業務を行う際でも患者さんに行えることで自分が考えられることが増えたので、より適したケアが行えるよう努力していこうと思う
- ・ 認知症の患者さんが安心して生活できるように環境作りをしていきたい

- ・ その人らしさ（感情、感性、感覚）、患者様に声かけをする、分かりやすく問いかけることが大切だと感じた
- ・ 上手に視野に入ると認識されやすい、を心掛けたい
- ・ 話しかける時は、まず相手の視界に入り、必ず視線を合わせることを心がけていきたい
- ・ 視線を合わせる事が大切。表情穏やかに接するように心掛けたい
- ・ 表情は穏やかに、上手く間を取りながら支援していこうと思う
- ・ 言葉でうまく言えないから目と体温で伝えてみる。優しい気持ちで介助できるよう心がけたいと思った
- ・ 認知症でも言葉はちゃんと分かっていると聞いて驚いた
- ・ 認知症高齢者が健常高齢者と同じレベルで相手の視線に気づき、感じる事ができていることにびっくりした
- ・ YouTube を皆で見る。ありがとうございました
- ・ パワポのみにある情報があったが、あると良かったと思える内容があり、少し残念だった
- ・ ユマニチュードについて述べていたが、日々のタスクが多すぎて思う介護できず

2. 講演『おいしく食べ続けるために』を聞いて。

（講師：岡山赤十字病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 十河 有子 氏）

A.

a. 大変勉強になった	54名	c. 勉強にならなかった	1名
b. 勉強になった	37名	d. 全く勉強にならなかった	0名

未記入0名

B. 講演内容について

a. 大変分かりやすかった	43名	d. 少し難しかった	5名
b. 分かりやすかった	30名	e. とても難しかった	5名
c. 普通	9名		未記入1名

C. 感想があれば一言。

- ・ 勉強になった
- ・ 再度勉強になった。誤嚥しないよう姿勢にも気をつけたい
- ・ 業務をしていく中で役立つことがたくさんあり、勉強になった
- ・ すぐに実践したい内容だった。役立てたい。ありがとうございました
- ・ 明日から食事介助、口腔ケアに役立てるようにしていきたい
- ・ 食事のポジショニングや口腔ケアについて新たに知ることもあり、大変勉強になった
- ・ 食事介助を今後行うときの参考になると思うので、聞いたことを行っていくようにする
- ・ 食事介助に関わるときに注意することなどを教えていただき、勉強になった
- ・ 細かな工夫や患者のために日々努力されている様子を見ることができ、仕事に役立てたいと思った
- ・ 少し難しかったが、仕事上で参考になることがあったので、少しでも活かしていきたい
- ・ 自分が間違っていること、知らなかったことがいくつかあり、明日から実践できると思った
- ・ 実体験をもとに講義されているくだりが、今までの経験と当てはまることがあり、アセスメントの大切さがよく分かった

- ・ 事例を用いての説明が分かりやすかった
- ・ 食べることの重要性が分かった
- ・ 食べることの大切さや患者さんへの対応の仕方が詳しく分かった
- ・ 食べることの大切さを再認識し、食事介助の基本をしっかりと学ばせていただいた
- ・ 嚥下のメカニズムについて科学的に理解できた
- ・ 歯がないと嚥下がしにくいということが分かった
- ・ 嚥下は奥が深いと思った。食べることの大切さ、歯の大切さを考えさせられる良い話だったと思う
- ・ 食べることは“楽しい”の一つ、おいしく食べ続けることは大事だと思った
- ・ 「食べる」ことは精神的・社会的にも必要で、食べることで心が満たされる
- ・ 食べることは一番の治療でそのためにしなければいけないことが分かって良かった
- ・ 食べるという行為は、栄養摂取のためだけでなく、食事を通じて人と交流することでもあった
  - ・ 食事を美味しく食べられれば楽しい毎日
- ・ 美味しく食べていただくことが何よりも大切だと思った
- ・ ただ食べるだけでなく、前後にも気をつけることがたくさんあるのだと学べた
- ・ 患者にとって楽しく安全に食べるという行為を介護士として提供していきたい
- ・ ちょっとした工夫でおいしく安全に食べてもらおうという気持ちになった
- ・ 美味しく安全に食事するためには色々な工程があり、無意識に行っている行為の一つなので、複雑なことをしていると改めて実感した。それらを踏まえた上で患者さんに対して美味しく安全に、を意識するととても難しいことだと思った。大変だが、日々どうしたらいいかを考えながら患者さんに寄り添っていくことが大事なのだと再認識させていただいた
- ・ 食べ方はその人それぞれに合ったやり方があると分かった
- ・ 患者さん1人1人に合った環境を作ることが大事だなと、とても勉強になった
- ・ 看護アシスタントが食介をすることはないが、認知症患者への声かけや環境整備方法などが知れて良い機会になった
- ・ 睡眠時の20度ギャッジアップには驚いた。寝にくそうだと思ったため
- ・ 患者さんの「美味しく安全に食べる」を支えるための私たち職員の気づきの視点、言動、しぐさの大切さを改めて認識した
- ・ 食介前に患者の五感を利用する・見せる・嗅がせる、を心掛けたい
- ・ 食事に使用するスプーンの大きさも重要と思った。ゼリーの摂取法も“平たく”は勉強になった
- ・ 食事介助の注意点（食事が見えるようなセッティング、食器の選択、柵を外してオーバーテーブルを付ける、足底をつける等）が分かった
- ・ 食事の拒否が強い患者さんへの対応が分からなかったが、どのようにすればよいかとても良い例を勉強させていただいた
- ・ 甘い物から食事が進むことがあるんだなあと思った。食事はなるべく単品ずつで食介をする
- ・ 食べていただけない患者様に工夫をして食べていただけて、看護師が喜んでる姿に感動した
- ・ 食事介助のことが、学べて良かった・とても勉強になった(2)
- ・ 食事介助について改めて勉強したので、安全に対応していきたいと思う
- ・ 食事介助をすることになり、どうすれば食べやすいのか詳しく教えて頂きとても勉強になった
- ・ 実際にお茶で、悪い姿勢で飲むことの難しさが分かった。姿勢保持の大切さが分かった
- ・ 食事介助をしていて、もっとこうした方が患者様に楽しく美味しく食べてもらえるのではないかと、ということを勉強できた。トロミに関しても、よく混ぜはするが5分間置くことはなかったなので勉強になった

- ・ 顎を引いてあげて、テーブルの高さを調節して安全に食べてもらいたいと思う
- ・ ポジショニングが大変参考になった
- ・ 口腔ケアの詳しい説明が聞けて良かった
- ・ 口腔ケアや食事の時の体勢に今後も力を入れたいと思った
- ・ 認知症の種類によって摂食困難の特徴が違うというのが、当たり前ではあるが再確認できた
- ・ 患者さんがどうすれば食べやすいのか、口腔ケアの大切さを知れて良かった
- ・ 食前の口腔ケアで誤嚥性肺炎を防ぐことができると分かり良かった
- ・ 口腔ケアをすることによって肺炎を起こしにくくなると、自院ではよく言われている
- ・ 口腔ケアについての知識を詳しく知る事ができて良かった
- ・ 食前にも口腔ケアをする方が良いとのことだった。少しでも行っていけたらと思う
- ・ 食前に口腔ケアを行うことを考えたことがなかったので、これからしっかり確認する
- ・ 患者さんが安全に食べ続けるように口腔環境を整えるなどの支援をしていきたい
- ・ おいしく食べ続けるためにはお口の環境をキレイにすることを日頃から気をつけようと思った
- ・ 患者様の要望（気持ち）と歯・口の状態を考えると難しい方もおられるので難しい
- ・ 専門的な事項が多く、アシスタント業務で活用できる所は少なかったが、活用できる所もあったので再認識できた
- ・ 看護アシスタントとして業務に関わることが少なく、分かりにくかった
- ・ 自院では看護アシスタントが嚥下リスクのある方の食介とかはなく、とても難しい話だった
- ・ 無資格の自分にはとても難しく、勉強にはなったが、直接介助をしないこともあり怖さや難しさが強く残った
- ・ 専門用語が多すぎて難しかったが、話が聞けて良かった
- ・ 専門用語が多く、その用語が分からず理解に欠けた（早口だった）。おいしく？と結びつかなかった
- ・ スピードがあったのでついて行くのが大変だった。次回も参加したいと思った
- ・ パワポのみにある情報があったが、あると良かったと思える内容があり、少し残念だった
- ・ 資料にない項目が多かった（もう少し入れてください）
- ・ 音声がしばしば聞き取りづらく、理解がしづらい箇所があった
- ・ 「たぶん会場ではこういう感じで説明されているんだろうな」と（声が遠くなるので）。映像にはテキストしか映らず、どうやっているか見ながらにしてほしかった

3. 仕事をする上で困っていることや、今後勉強したいこと・聞きたいこと等希望する研修内容などがあればご記入ください。

**【仕事をする上で困っていること】**

- ・ 職務もこなさなければならぬので、寄り添いきれないことがストレス
- ・ 日々のタスクが多すぎて（配置基準の問題もあり）、理想の介護が叶わない
- ・ 耳が聞こえなくて筆談しても見てもらえず、関り方が難しいと思うので、どのように関われば良いか困っている
- ・ まだ1年半くらいなので、分からないことばかり

**【今後勉強したいこと・聞きたいこと等】**

- ・ 次世代への指導方法
- ・ アセスメントの作成方法
- ・ 補助者のリーダーとしても勉強会、人材の育成
- ・ 感染について（コロナ含めどんな種類や特徴があるのか）

- ・ コロナ患者を対応されている看護師さんに補助者ができることを知りたい
- ・ 認知症患者の状態は様々。具体例や、具体的な対応の仕方をしりたい
- ・ 重傷者の食事介助を頼まれたりするが、どこまで介護福祉士で介助ができるか？
- ・ 認知症患者さんで、食事を認識されていない方で、摂取できなかつたり口腔ケアができない方の方法を教えていただきたい
- ・ 認知症と一つにくくらず患者様に寄り添ったケアを心掛けたい。食事介助の方法も専門的に勉強してみたい
  - ・ 食事介助の研修
- ・ 認知症の方の不穏な状態の時の対応（暴力・暴言）
- ・ 急に怒り始めた患者さんへの対応の仕方（予防でなく、発生してしまった場合の対処方法）
- ・ 病院から施設、グループホーム他へ退院に向けた取り組みや他職種の家族との行動？退院支援
- ・ コミュニケーション技術やポジショニングなど勉強してみたい
- ・ ポジショニング、おしめのあてかた
  - ・ 1人でのおしめ交換
- ・ 排泄ケア等で何回も漏れて更衣をしている患者がいる。おむつの当て方等工夫を教えて欲しい
- ・ 拘縮のある患者が多いので、その方に合ったおしめのあて方やポジショニングを知りたい
- ・ 患者さんの負担の少ない体位変換、ベッドからの移乗（ベッド・車イスなど）、清拭の仕方など
- ・ 自分より大きい人への介護技術、トランスや転倒時の床からの立ち上がり等
- ・ 体位変換、ポジショニング
  - ・ 体交の方法、サポートの仕方
- ・ 体変の時の腰を痛めないやり方
  - ・ 実践による介助（食事や体位変換等）の研修
- ・ 転倒リスクについて詳しく勉強したい
  - ・ 簡単にできるバリアフリー等
- ・ 全身浴での褥瘡の正しい洗い方など
  - ・ 入浴介助、清拭など
- ・ 清拭する時に気をつけること（例えば、皮膚剥離しないようにとか）
- ・ 清潔・不潔の分別方法、汚染物質の廃棄方法等
- ・ ベッドシーツのきれいな敷き方を勉強したい
- ・ 今介護福祉士の勉強をしている。補助者だからできないこともあるので、今のうちにできることを地味に勉強していく

4-①. 今回のハイブリッド開催はいかがでしたか？ 参加された感想やご意見を、ぜひお聞かせ下さい。

- ・ 今後リモートが主流になると思うので、良いのではないか
- ・ 参加方法が選べるのが良かった(2)
  - ・ 感染拡大の中、会場で参加できて良かった
- ・ ハイブリッド開催をしていただいたので参加しやすかった
- ・ リモートでの研修だったが、聞きやすかったと思う。参加することができて良かった
- ・ 初のオンライン参加だったが、何事もなかったので大丈夫
- ・ オンラインでの参加だったが受けやすくて良いと感じた。会場に行くと緊張してしまって講師の方の言葉が飛んでしまうこともあるが、なじんだ場所だとマイペースに聞くことが出来良かったのかなと思った
- ・ この時代なので集まって実技・演習をすることは難しいが、そういう体験もしてみたいと思った。  
Webはどこにいても研修に参加できるのでありがたかった
- ・ 慣れた環境でストレスがなかった。分からないことや疑問を仲間に確認できた
- ・ オンライン参加だったが、会場にいるような感覚と変わらず受講できた
- ・ 院内の静かな環境の中で、感染対応も(移動を含め)でき、とても集中して参加できた
- ・ ゆっくりと講演を聞くことができて良かった。会場までなかなか行くことが困難なので助かった



- ・ コロナ禍の中、Zoomで参加できるのはとても良いと思った。また機会があれば、是非参加したい
- ・ コロナ禍でこのような研究会は出来ないと思ったが、リモートで参加させていただいて良かった
- ・ 密にならず良いと思う ・ 密にならずに研修ができたので良かった
- ・ 感染の心配がなくて良かった。ありがとうございました
- ・ コロナ禍ということもあり、密になることを避けるために良いと思った
- ・ 職場での受講だったので、コロナ禍ではあるが安心して受講できた
- ・ 勤務先でオンラインで受講させていただき、ありがたかった
- ・ コロナ禍なので、勤務先で参加できて良かった ・ 移動の負担がなかったのが良かった(2)
- ・ 感染リスクを減らせるだけでなく、勤務先にいながら学ぶことができ(会場への往来時間短縮)とてもよかった
- ・ 移動の時間がないので、時間の有効活用ができた(研修前に仕事をした)
- ・ 病院で受講することが出来、研修の前後に働くことができたのが良かった(コロナで人手不足なのでありがたい)
- ・ オンライン参加ができて、仕事を少し手伝えたので良かった ・ 参加しやすかった
- ・ 自院で受けられるので、時間がうまく使えてよかった ・ 手軽に参加できたので良かった
- ・ コロナの時期にはとても安心で、講演に集中できた ・ 聞きやすく分かりやすかった
- ・ 会場へ行かず普段聞いてみたいと思っていることが聞けて良かった
- ・ 講演も分かりやすく、現地に行くことなく参加できて良い。認知症について学べて勉強になった
- ・ 資料も分かりやすく、他者の顔も見えて良かった
- ・ 声がこもって聞き取りにくいこともあったが、パワーポイントが近くで見れて分かりやすかった
- ・ ズームがちんぷんかんぷんで戸惑ったが、すごく便利で良いなあと思った
- ・ このような形での参加は初めてだったので、良い勉強になった
- ・ 中々体験できないリモートでの研修だった。普段聞くことの出来ない講義が聞けて大変勉強になった。学んだことを仕事に活かしていきたい
- ・ 初めての参加だったが、すごく良かった ・ 良い・よかったと思う(2)
- ・ オンライン講演で勉強になることが多く、勉強になった ・ 1日で多く学べてよかった
- ・ いろいろな病院や施設の方と共有できて良かったと思う ・ とてもよい経験になった
- ・ 初めての参加だったが、とても分かりやすく、機会があればまた参加したい
- ・ 内容が分かりやすく大変勉強になった。明日からの仕事に活かしていきたいと思う。ありがとうございました
- ・ とても分かりやすく、良かった・参加できて良かった(2)
- ・ とても勉強になった(4)。ありがとうございました
- ・ 大変勉強になった。具体的な話が多く、明日から実践できることをしていきたい
- ・ 他の病院のケアや食介方法などを知ることができたのが良かった。皆さんいろいろな工夫をされていて、今後参考にしようと思う
- ・ どちらの内容も実践的な内容だった。今後、実践していきたいと思う
- ・ 今現在病棟の患者に合った講演で、現場で活かせる内容だった
- ・ 初めて参加して普段の業務では分からないことが分かって良かった
- ・ 今回の研修は、自分自身にとっても勉強になり、役に立てることができると思った
- ・ いろいろな分野の方のお話は毎回為になるので、また開催してほしいと思う
- ・ 4月から看護補助者で勤務している。分からないことが多く、いろいろなことを教えていただきとても勉強になった



- ・初めての参加だったがあっという間だった。また機会があれば参加したい
- ・難しい内容もあったが、貴重な時間を過ごさせてもらった
- ・講師の方、お忙しい中ありがとうございました。コロナ中なので1日はしんどいのではないかな
- ・午後の講演の資料の文字が、数カ所小さすぎて読みづらい
- ・午後の講演は、もう少し練習していただきたく願う。接続詞が多すぎて聞きづらかった
- ・会場参加ではなかったもので、実演時声が届かなかったり、手先が見えず分かりづらかった
- ・受講中の動画再生の音量が大きすぎて困った
- ・音声聞き取りにくい場面が多々あった（マイクの使い方の問題）
- ・ずっとテキスト画面で進めていくので、説明している方も映してほしい。動きがない

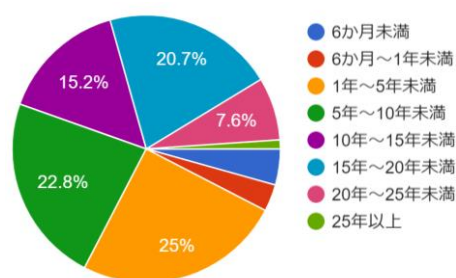
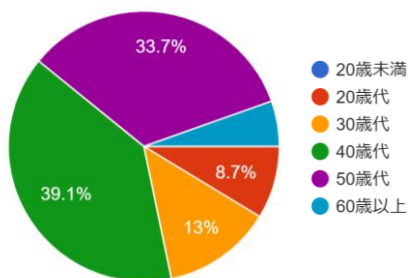
4-②. ハイブリッド開催はどこで参加されましたか。

- a. 受講会場（岡山県医師会館） （13）名
- b. 病院（勤務先） （74）名
- c. 自宅 （4）名
- d. その他 （0）名 未記入（1）名

5. 今回の研究会に参加した動機はどれですか？

- a. 病院から参加を勧められた （80）名
- b. 自分から積極的に出席した （10）名
- c. その他 （0）名 未記入（2）名

【年 齢】	【勤務年数】	【職 名】
20～29歳 （8）	～6か月未満 （4）	看護補助者 （64）
30～39歳 （12）	6か月～1年未満 （3）	介護福祉士 （26）
40～49歳 （36）	1年～5年未満 （23）	ヘルパー （1）
50～59歳 （31）	5年～10年未満 （21）	看護アシスタント （1）
60歳以上 （5）	10年～15年未満 （14）	
	15年～20年未満 （19）	
	20年～25年未満 （7）	
	25年以上 （1）	



【施設】 病院（88） その他施設（0） 未記入（4）